

令和7年度 九州大学一般選抜（前期日程）国語 出題意図

〔現代文1〕

インタビューセッションの内容について出題。文章の指し示す内容、筆者のいう「音のズレ」、「完全に聞く」という表現などについて理解したうえで、適切に表現する力を問う。

〔現代文2〕

自然環境の有限性と所有の内容について出題。文章の指し示す内容、「有限性」「存在論的体制の転換」という表現、近代法における所有権が根差す「人間観」について理解したうえで、適切に表現する力を問う。

〔古文1〕

鎌倉時代の日記『うたたね』を題材に、古文の基礎的な語彙・文法の理解をふまえ、原文の正確な読解に基づいて、設問に対して的確に説明する力を問うものである。和歌に関する基本的な理解、文学史に関する基礎的な知識も問うている。

〔古文2〕

16世紀末の紀行文『九州の道の記』を題材に、古語や古典作品、文学史の基本的な知識に基づいて、原文を正確に読解し、的確に説明する力を問うものである。本問では、和歌に関する知識と理解が特に重要なものとなっている。

〔漢文〕

『三国志』および注の内容から出題。基本的な漢文読解の力を問う。